


## 3.2 現状分析及びあるべき姿の検討

- 3.2.1 作業日誌
- 3.2.2 DFD(AsIs)
- 3.2.3 UML(AsIs)
- 3.2.4 DFD(論理化)
- 3.2.5 ToBe(DFD)
- 3.2.6 抽象化機能一覧表

## 作 業 日 誌

作 業 名	川口市 業務・システム刷新化検討 第2回作業	
日 時	2007年1月31日(水) 9:30~11:40	
場 所	川口市役所第二庁舎 第1会議室	
参 加 者	職員：	
	市民課 大山様 子育て支援課 若谷様 市民税課 中村様 税制課 鈴木様 情報政策課 野崎様、奥山様 山路様、加来様 峰久様	
	事業者：	
	日立製作所 小松崎、大谷 デュオシステムズ 牛山 NEC 山口 富士通 中山 NTTコミュニケーションズ 山田	
使った資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務・システム刷新化検討(第2回)</li> <li>・刷新化対象業務の業務参照モデル(DFD)</li> </ul>	

### 概 要

#### 【作業の目標】

- ・第1回WGで検討した「刷新化目標・目的」の達成や「刷新化行動」の実施に向けて、現行業務の「機能」「情報」をどのように組み替えるべきか、また組み替えた業務のどの部分で刷新化行動を実施するのかを明確にすることを目標として、以下に示す刷新化対象業務を例に、参照モデル(DFD、UML)を用いて検討しました。

#### <刷新化対象業務>

※下記は「対象業務：対象機能、ドライブ情報の上り/下り」の順

- 1) 住民(子供がおり、原付を保有する世帯)の転入に伴う一連の申請・届出(ケース1)
  - ・1-1 住民基本台帳 : 新規登録【転入】、住民異動届/住民票コード通知書
  - ・1-2 印鑑登録 : 印鑑登録証交付、印鑑登録申請書/印鑑登録証
  - ・1-3 軽自動車税 : 台帳登録、申告(報告)書兼標識交付申請書/標識交付証明書
  - ・1-4 児童福祉 : 手当給付【児童手当】(申請・届出受付~認定結果通知)、児童手当認定請求書/認定通知書
  
- 2) 住民が住宅ローンを組む際に銀行に提出する証明の取得(ケース2)
  - ・2-1 住民基本台帳 : 住民票・証明書等発行【住民票写し】  
住民票の写し等交付申請書/住民票の写し
  - ・2-2 印鑑登録 : 印鑑登録証明書交付  
印鑑登録証明書交付申請書/印鑑登録証明書
  - ・2-3 税制 : 税証明(受付~交付)、市民税証明申請書/市民税課税証明書

#### 【当日の流れ】

- 9:30～ 9:50 第1回検討結果の確認、本日の作業の説明 (20分)
- 9:50～10:10 現状分析 (参照モデルとのFit&Gap) (20分)
- 10:10～10:25 あるべき姿の検討作業の説明 (15分)
- 10:25～10:40 刷新化対象業務の論理化 (一筆書き) (15分)
- 10:40～11:10 刷新化対象業務の機能の抽象化 (標準化) (30分)
- 11:10～11:40 機能の抽象化に係る討議、次回作業の説明 (30分)

#### 【作業内容】

- ・ 本日の作業は、第1回WG検討結果の確認から開始しました。その際、目的手段分析図より抽出した「業務・システムの刷新化が必要になるとされる行動」について、PMOより説明がありました。
- ・ 続いて、本日実施する「現状分析」「あるべき姿の検討」の作業について、PMOより説明がありました。
- ・ 今回検討する「刷新化対象業務」を確認した後、「現状分析」を行いました。最初に児童福祉「手当給付」を例に現状分析を行うことにより、参加者全員が現状分析の具体的な作業方法を共有しました。その後、各業務の担当職員がそれぞれ現状分析を行いました。
- ・ 具体的には、刷新化対象業務に係る参照モデル (DFD) について、主たる情報 (ドライブ情報) の流れを辿り、機能や情報の過不足を修正するという方法で、現行業務の流れを整理していきました。
- ・ また、各業務のドライブ情報が、参照モデル (UML) の下半分に含まれているか確認し、含まれていない情報は、UMLに追加しました。
- ・ 現状分析は、一から成果物を作成すると多くの時間を要しますが、今回は刷新化対象業務の業務参照モデル (DFD) を活用することによって、効率的に現状分析を行うことができました。
- ・ 現状分析を一通り終えた後は、「あるべき姿の検討」に着手しました。
- ・ まず、対象業務の「機能」の論理化を実施しました。具体的には、ケース1について、参照モデル (DFD) の一筆書きをすることによって、住民基本台帳「新規登録【転入】」から他3業務へのつながりを確認することができました。
- ・ 一方、ケース2では、各業務が並行して処理されるものであり、つながりはないことを確認しました。
- ・ 論理化作業が完了すると、対象業務の「機能」の抽象化検討を実施しました。ここで、ケース2は機能構成が類似しており、抽象化しやすいことが想定できたため、本ケースの機能の抽象化 (重ね) から取り掛かりました。
- ・ すると、ケース2の各業務は、流れる情報の種類は異なるものの、機能構成は「受付・審査・作成・交付 (・手数料徴収)」という形で標準化することができました。
- ・ なお、上記の標準化を行うにあたっては、税制の「税証明」について、ケース2の他業務と機能の粒度を合わせるために、「作成」「手数料徴収」機能を明記することとしました。
- ・ 続いて、ケース1の対象業務の「機能」の抽象化について検討しました。特に「受付」機能について、「ケース1のいずれの業務でも同じ機能」として抽象化可能であるか、討議しました。
- ・ 結果として、各業務の参照モデル (DFD) 上の表記は同じであり、抽象化可能だと思われませんが、現実の業務では、「受付が相談を兼ねる場合がある (児童手当)」、「受付時点ではじくべき申請がある (住民基本台帳、軽自動車等)」等の事情により、単純に重ねることは難しいことが確認できました。
- ・ この後、論理化および抽象化の結果を踏まえた、正規化された業務の姿を整理することになりますが、続きは次回作業にて実施することとし、本日の作業は終了しました。

【出てきた意見】

- ・「機能」の抽象化について、以下の意見が挙げられました。
  - －ケース1の「住民基本台帳：新規登録【転入】」と「住民基本台帳：住民票・証明書等発行【住民票写し】」、「印鑑登録：印鑑登録証交付」と「印鑑登録証明書交付」について、川口市では受付および交付を同時に実施している（参照モデルでは、機能が異なるため、別々に分けられている）。
  - －組織を越えた受付業務の一元化を実現するためには、「職員の知識レベルのばらつきを補完するマニュアルの整備」という対応が考えられる。
  - －受付窓口で、「申請してはいけない人からの申請」をはじく等の対応が必要な業務があるため、ToBeとしては、受付の前に「前さばき」機能を設けることが考えられる。
  - －類似する機能構成の業務であっても、組織構成、制度の違い等により、一緒に実施することで却って非効率になる業務もある。ToBeとして一緒に実施することを想定しても問題ないが、実現に向けての制限事項には留意する必要がある。
  - －今回は、「受付の一元化」に議論が集中したが、次回以降の検討では、「機能」の抽象化（標準化）を進めた場合のデータ連携のあり方について、検討・整理したい。

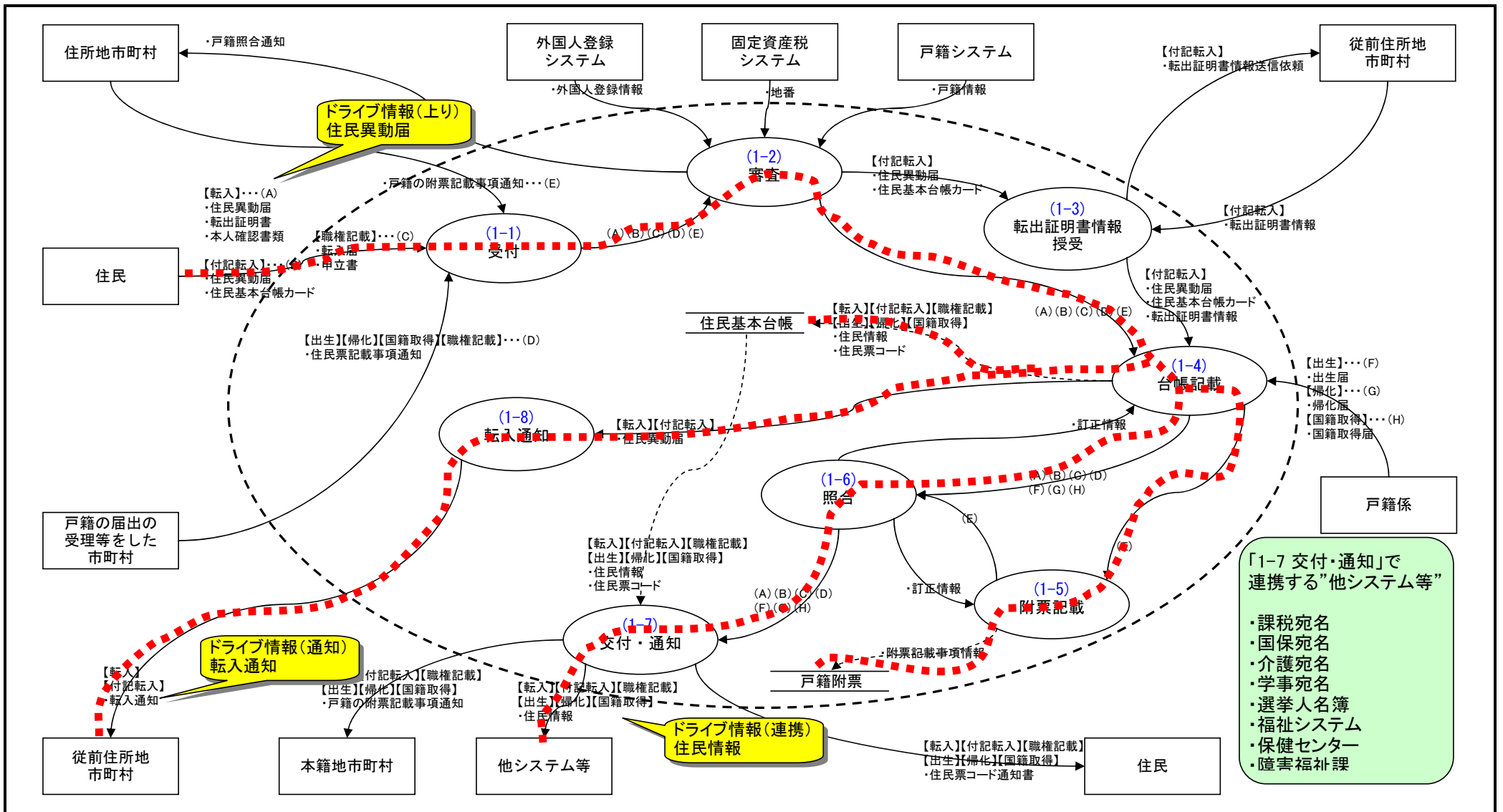
成 果 物

- ・ DFD、UML (AsIs)・・・ケース1、ケース2それぞれの対象業務について、参照モデルとの差異を把握しました。
  - ・ DFD（論理化）・・・ケース1の対象業務について、参照モデル（DFD）の一筆書きを実施しました。
- ※対象業務の「機能」抽象化の結果については、事業者にて整理し、別途職員に確認いただきます。

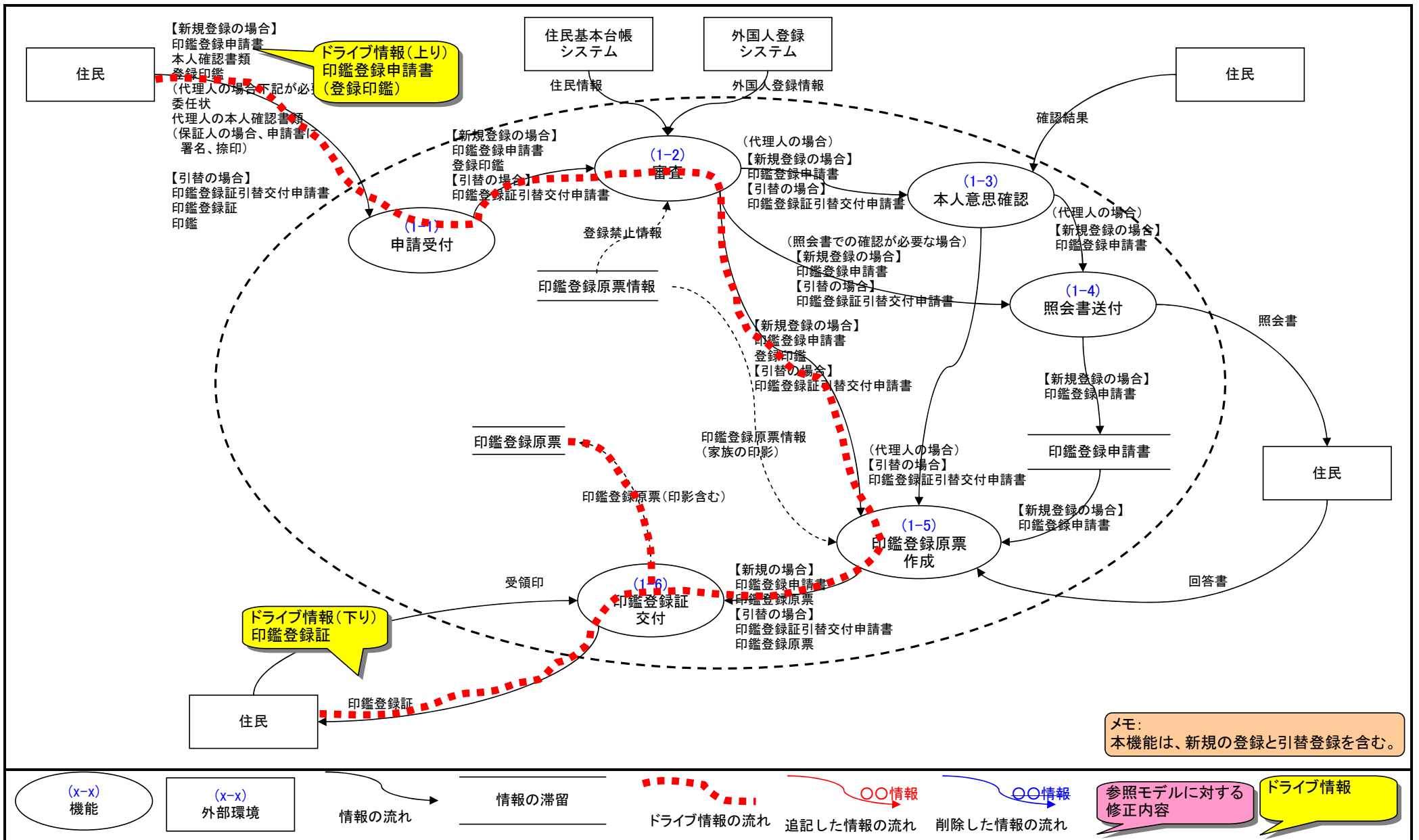
次 回

2007年2月14日（水）9時30分～12時

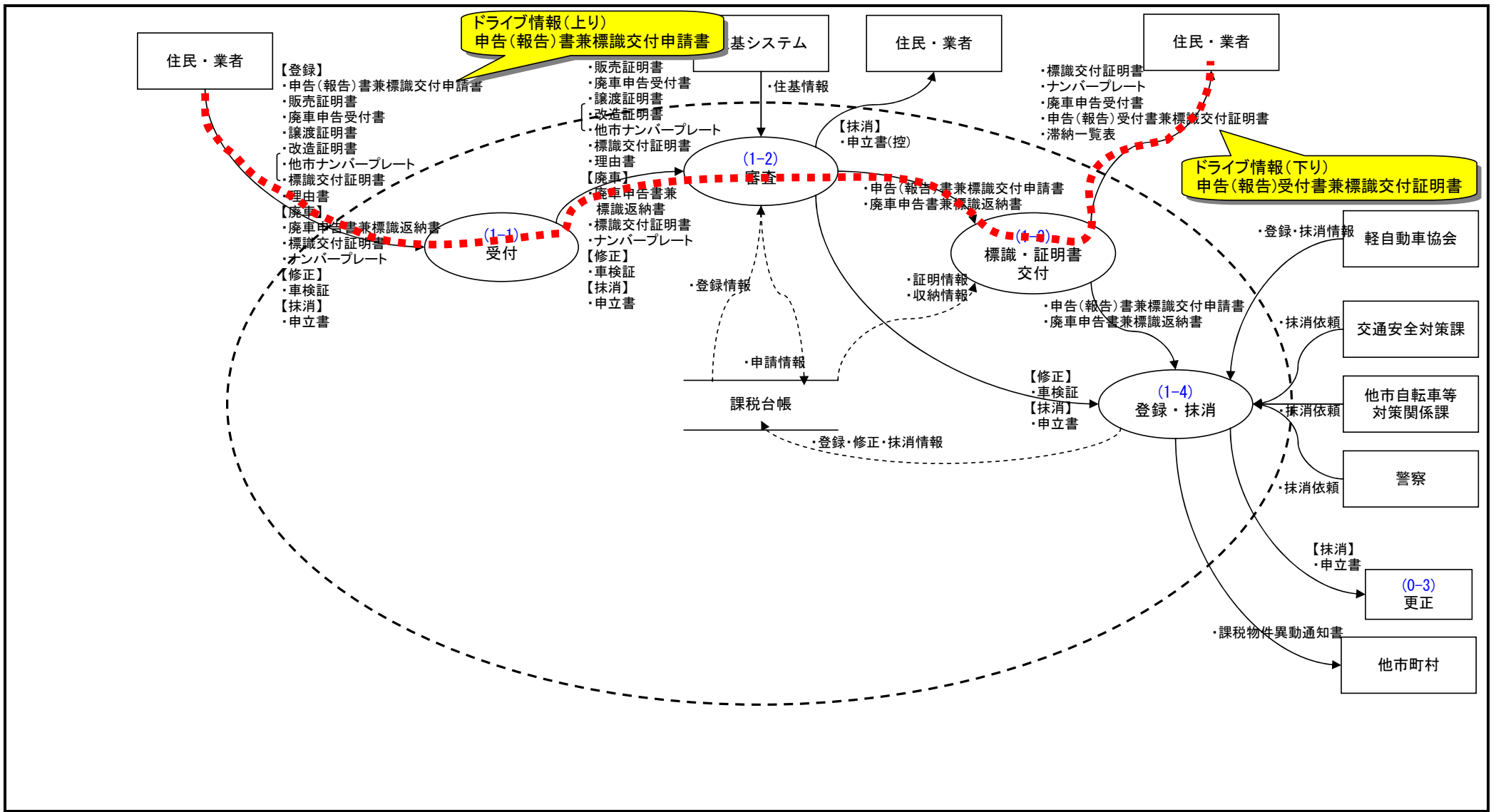
機能情報関連図(DFD)		対象業務	版数	作成日付	備考
川口市 AsIs		住民基本台帳	基幹	H19.1.31	ケース1:住民(子供がおり、原付を保有する世帯)の転入に伴う一連の申請・届出
階層0	住民基本台帳	階層1	新規登録	階層2	



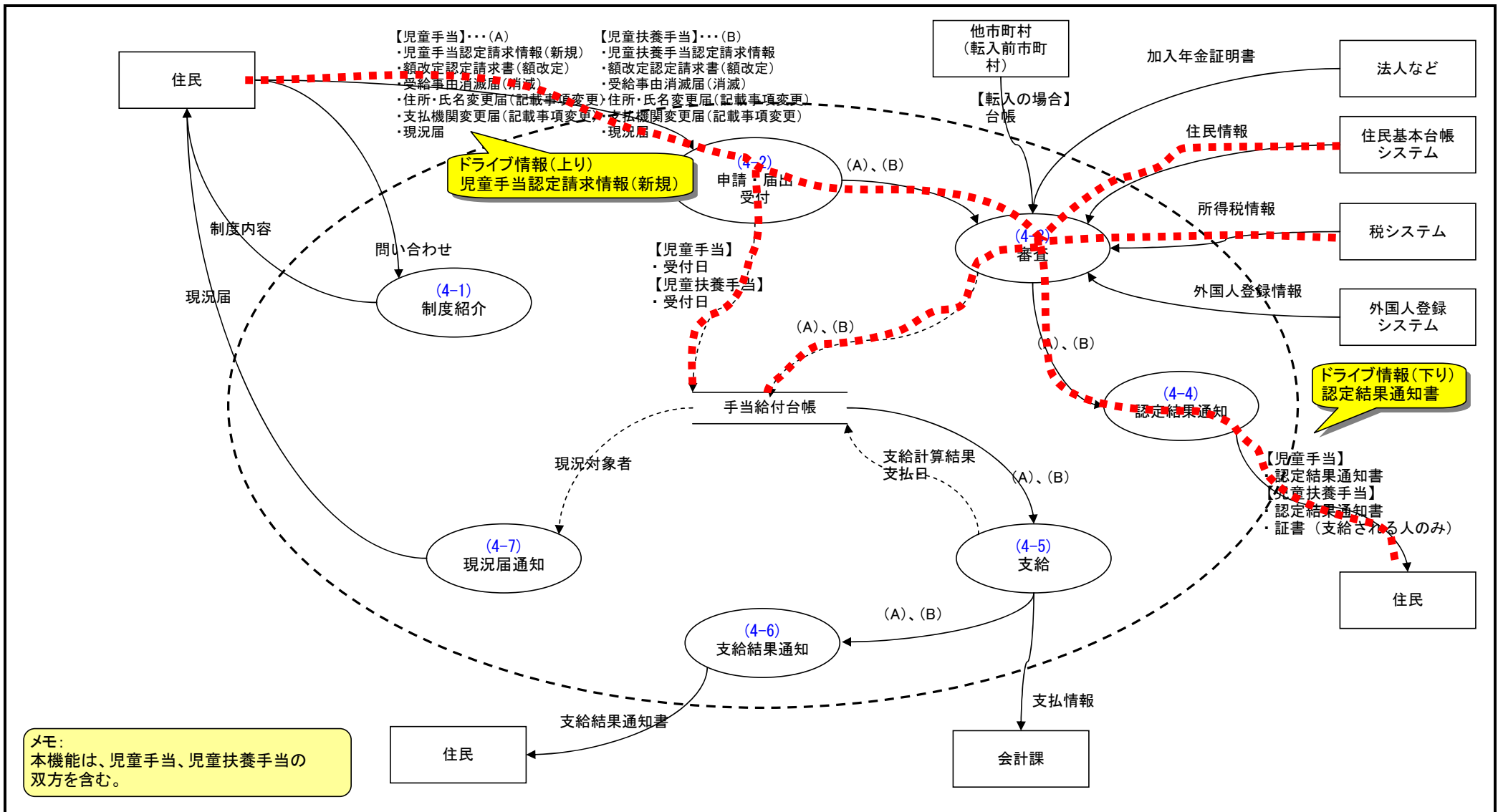
機能情報関連図(DFD)		対象業務	版数	作成日付	備考	
川口市 AsIs		印鑑登録	基幹	V1	H19.1.31	ケース1:住民(子供がおり、原付を保有する世帯)の転入に伴う一連の申請・届出
階層0	印鑑登録	階層1	印鑑登録証交付	階層2		



機能情報関連図(DFD)		対象業務	版数	作成日付	備考
川口市 AsIs		軽自動車税	基幹	H19.1.31	ケース1:住民(子供がおり、原付を保有する世帯)の転入に伴う一連の申請・届出
階層0	軽自動車税	階層1	台帳登録	階層2	



機能情報関連図(DFD)		対象業務	版数	作成日付	備考	
川口市 AsIs		児童福祉	基幹	V1	H19.1.31	ケース1:住民(子供がおり、原付を保有する世帯)の転入に伴う一連の申請・届出
階層0	児童福祉	階層1	手当給付	階層2		



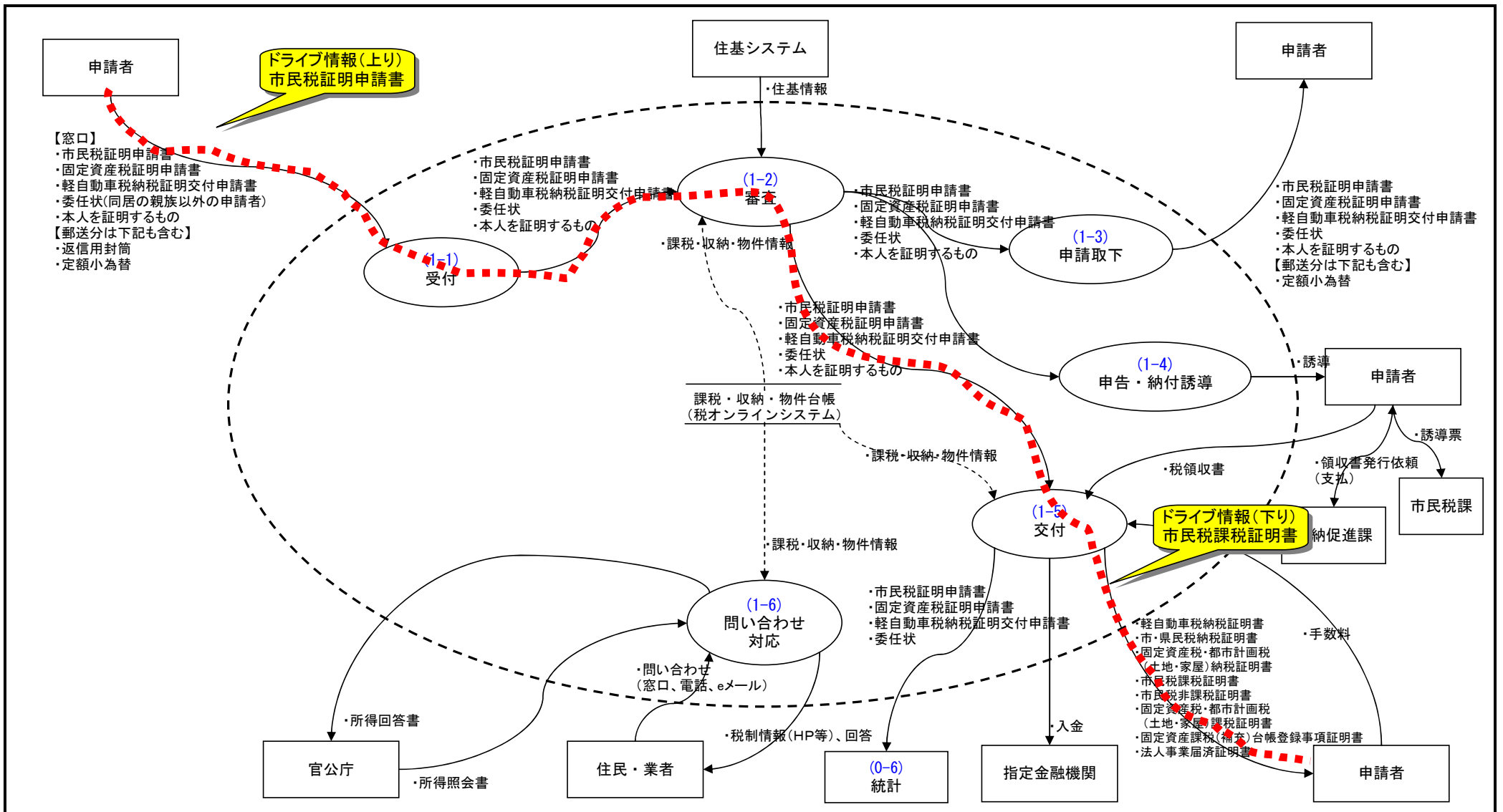
(x-x) 機能    (x-x) 外部環境    情報の流れ    情報の滞留    ドライブ情報の流れ    追記した情報の流れ    削除した情報の流れ    参照モデルに対する修正内容    ドライブ情報





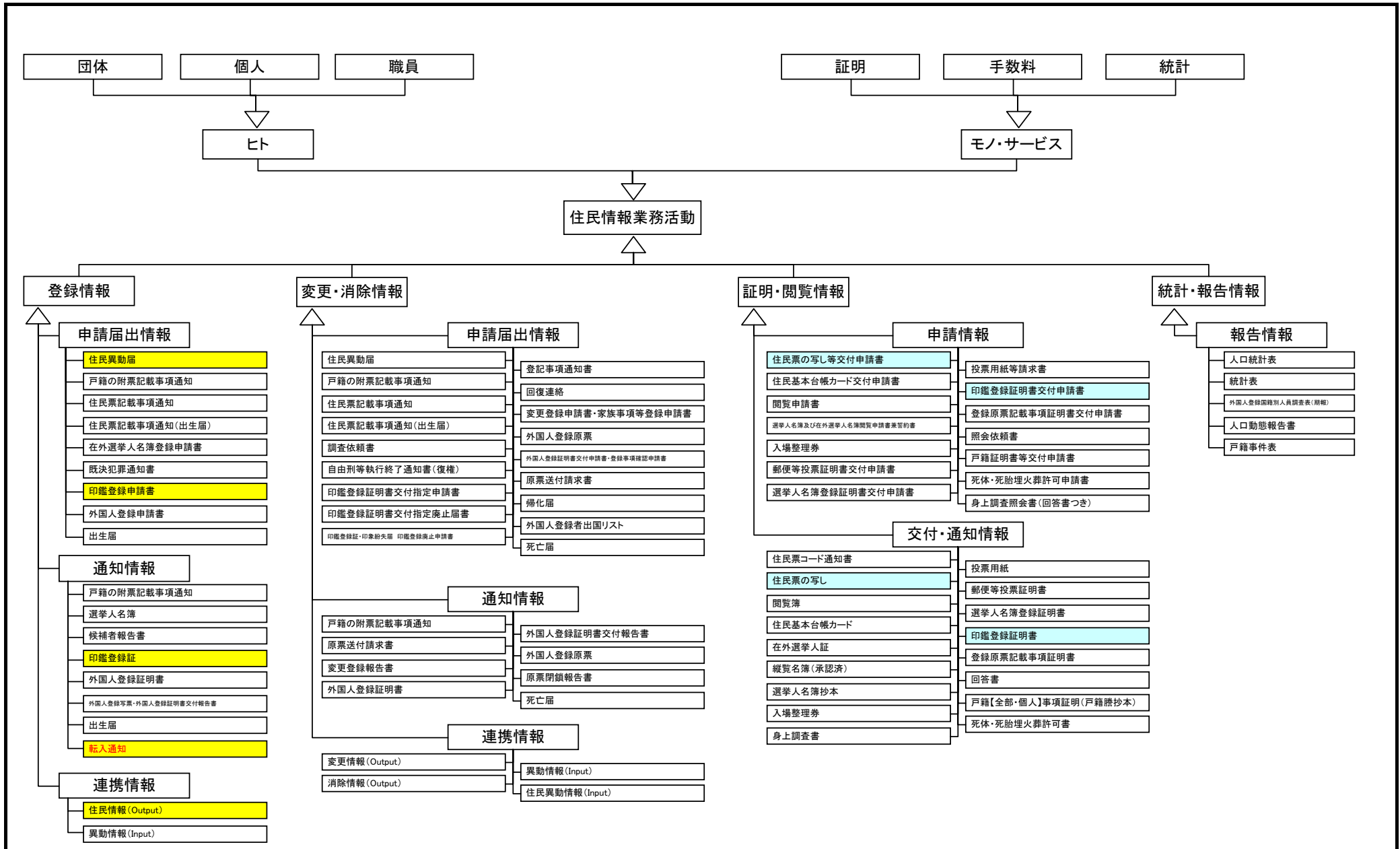


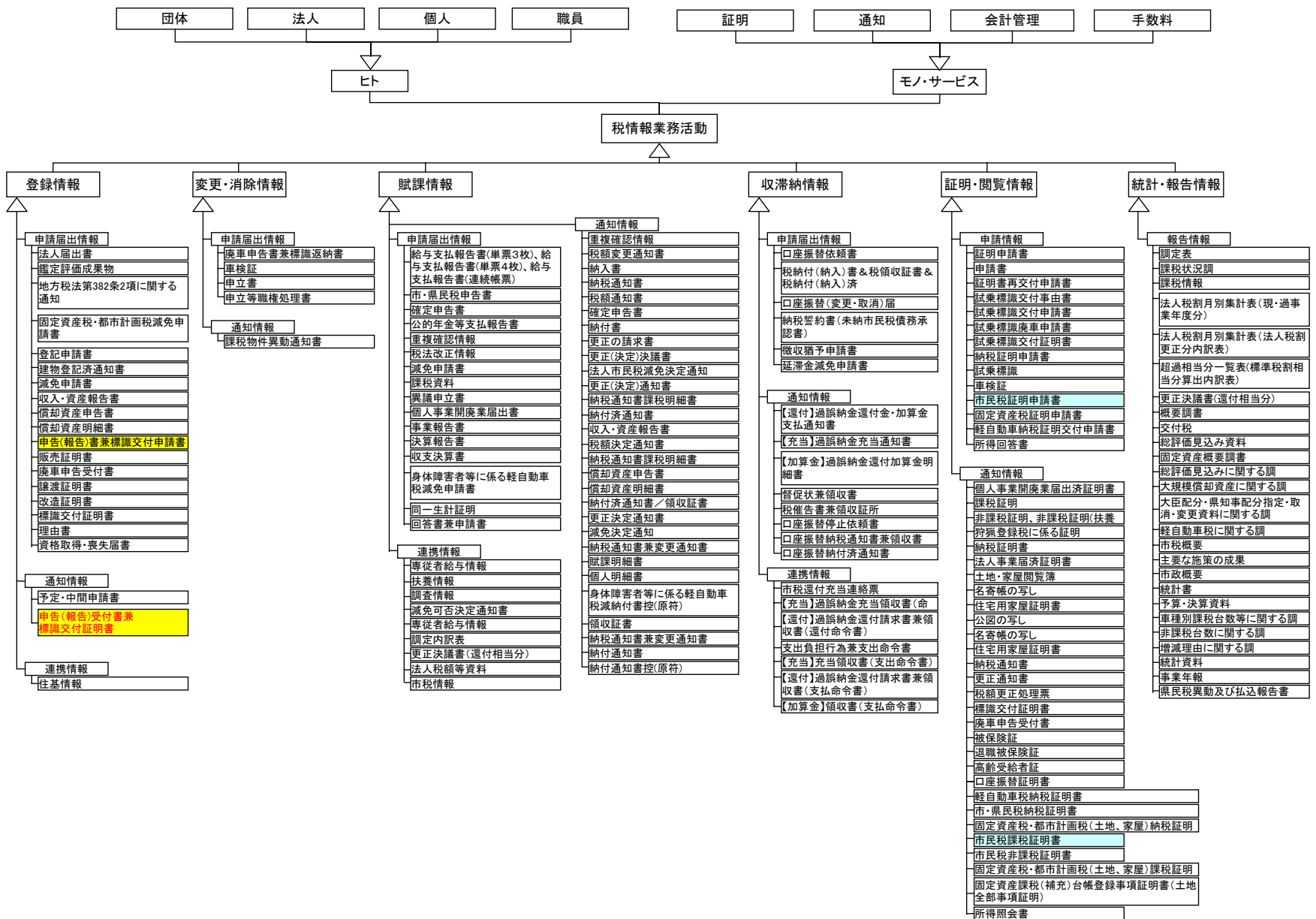
機能情報関連図(DFD)		対象業務		版数	作成日付	備考
川口市 AsIs		税制	基幹	V1	H19.1.31	ケース2:住民が住宅ローンを組む際に銀行に提出する証明の取得
階層0	税制	階層1	税証明		階層2	



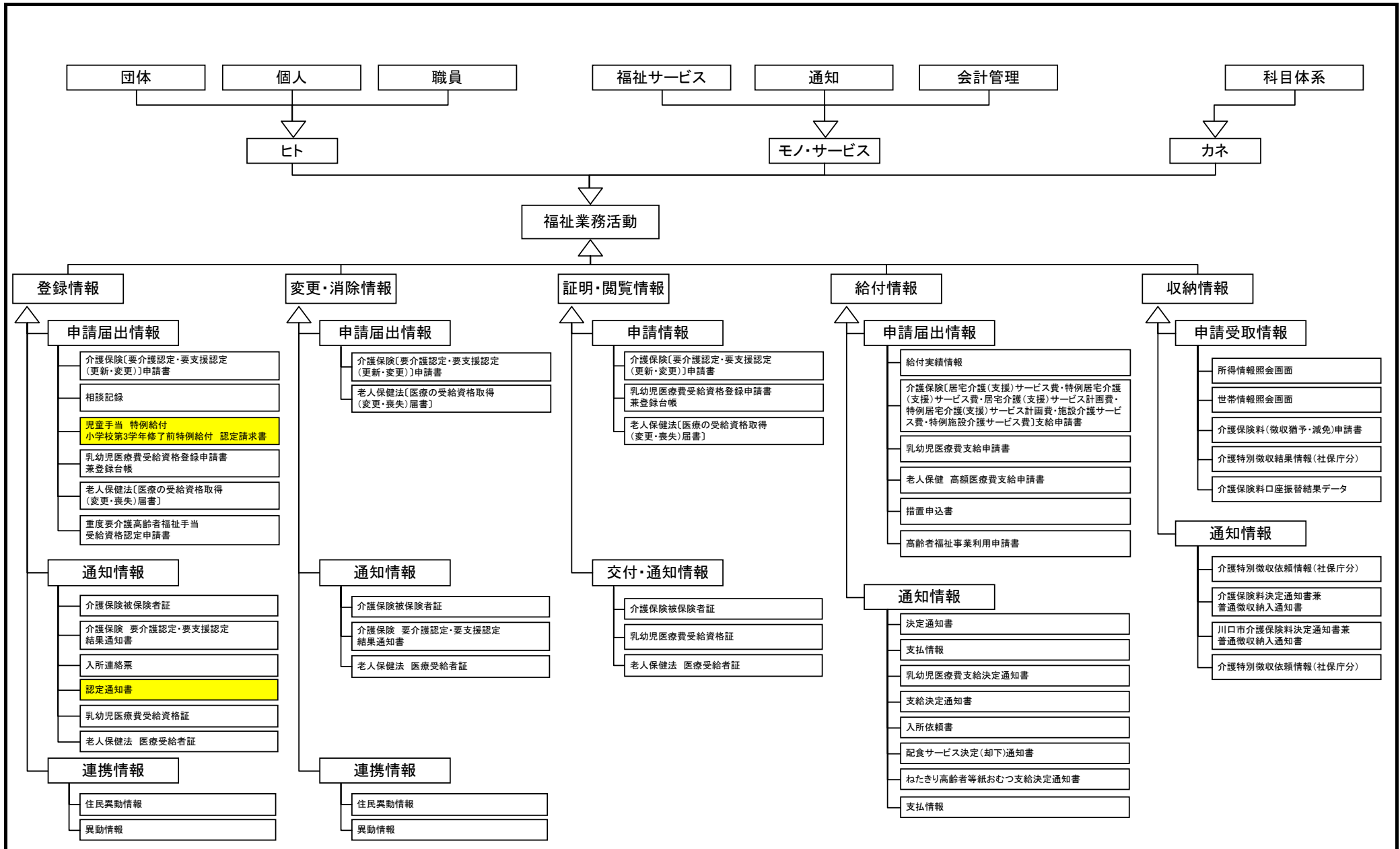
(x-x) 機能
(x-x) 外部環境
情報の流れ
情報の滞留
ドライブ情報の流れ
追記した情報の流れ
削除した情報の流れ
参照モデルに対する修正内容
ドライブ情報

情報体系整理図(UML) 川口市 AsIs	対象		資料番号	版数	作成日付	作成者	市
	住民情報	基幹			H19.1.31		EA策定チーム

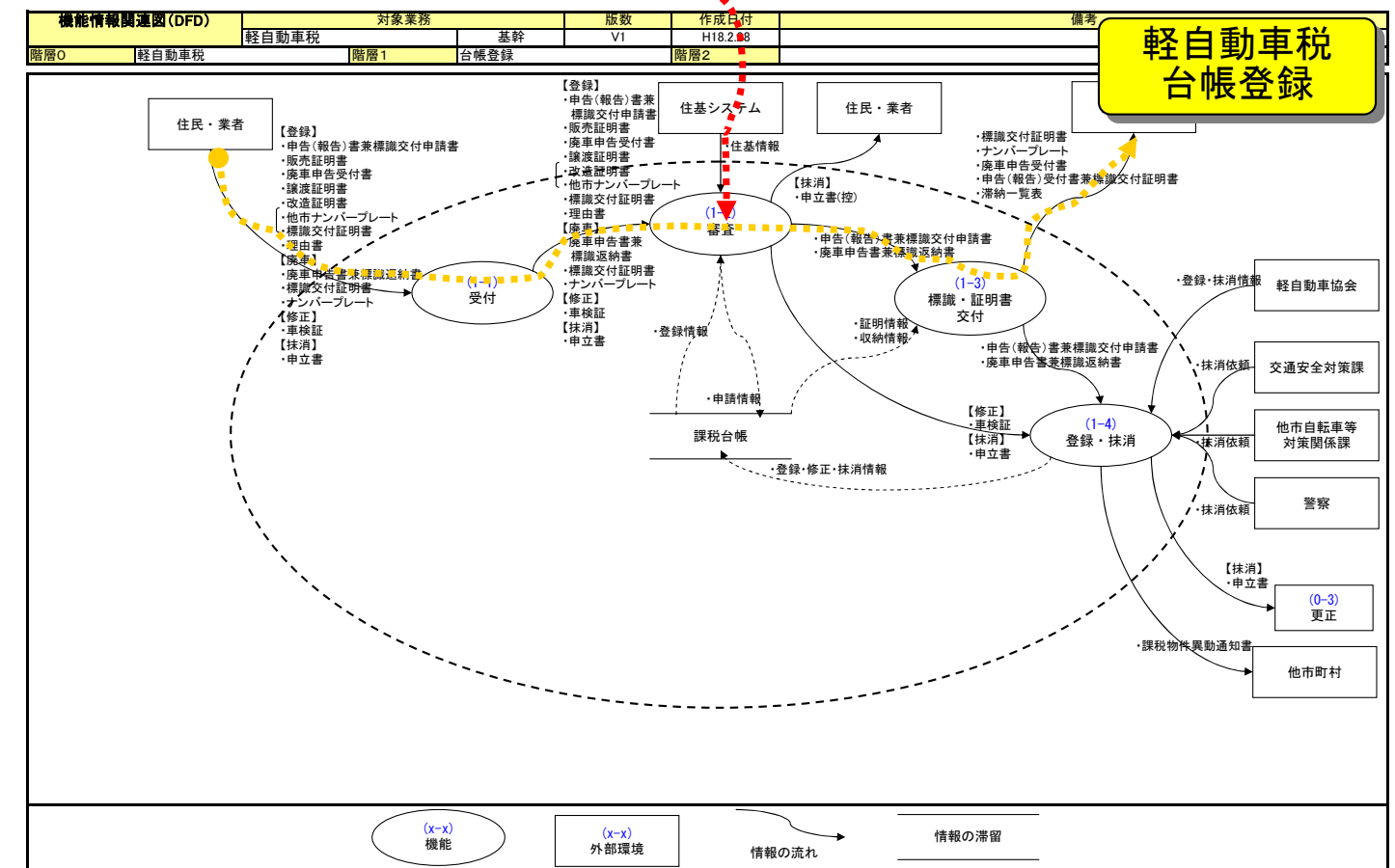
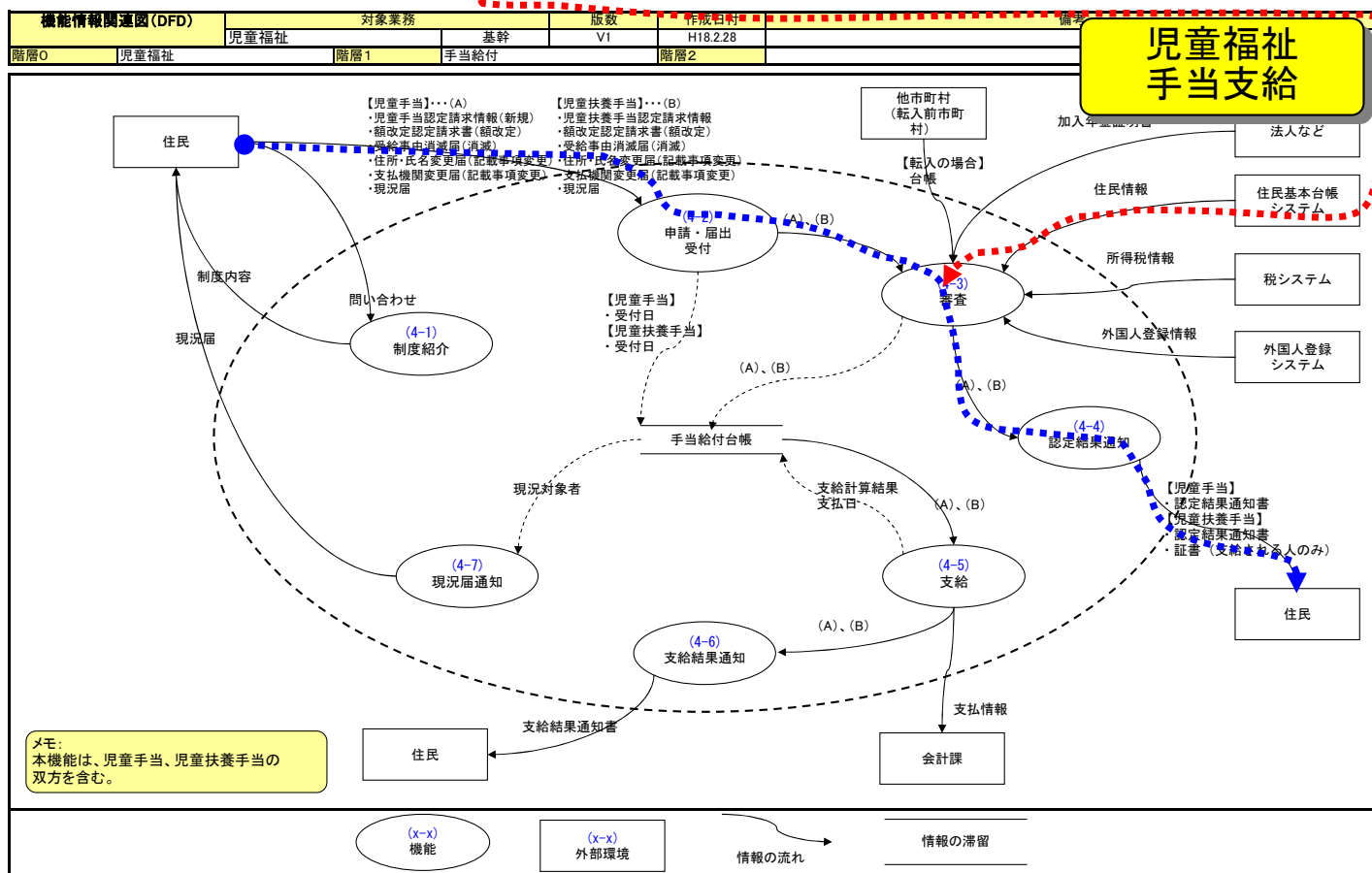
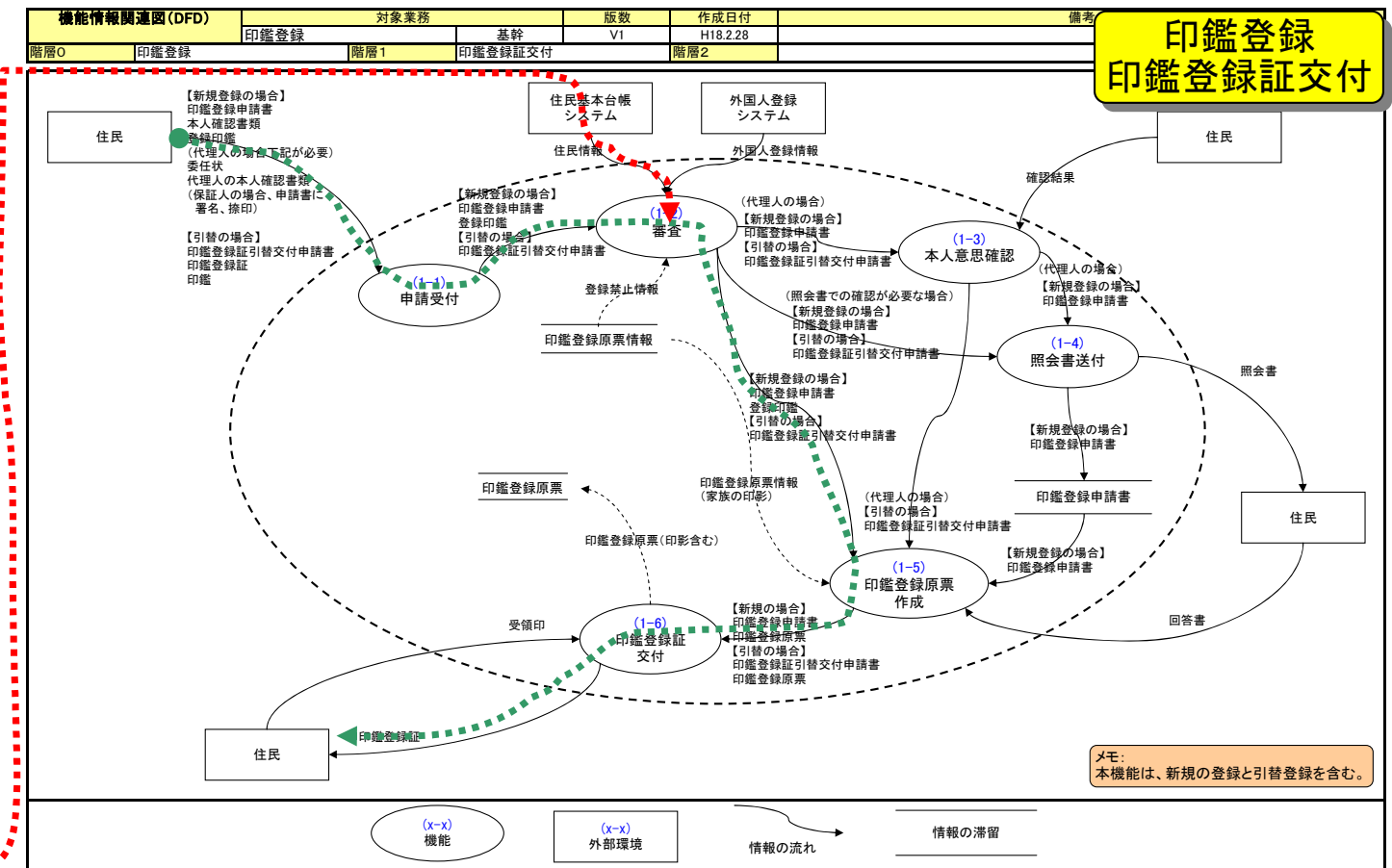
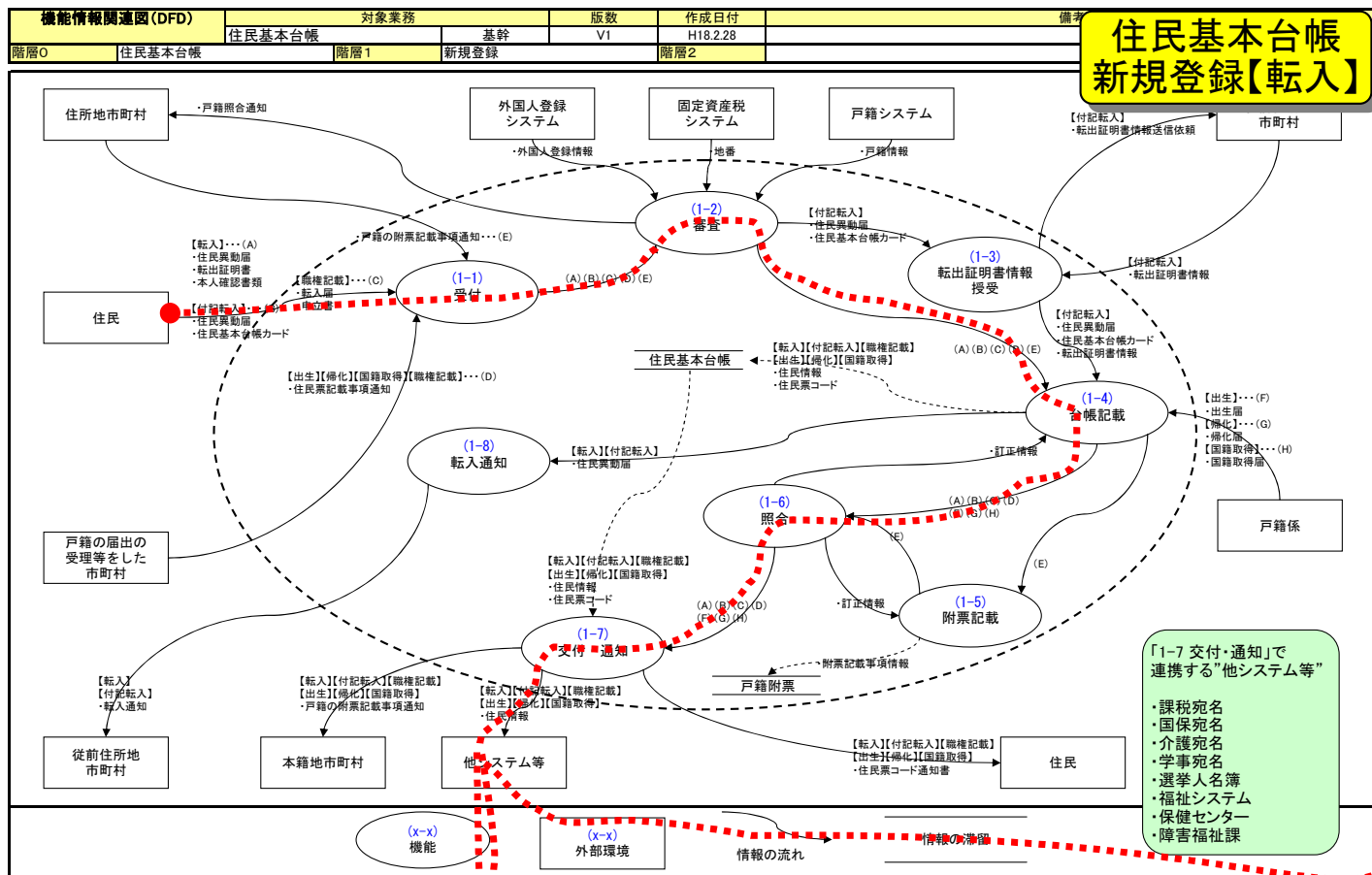




情報体系整理図(UML) 川口市 AsIs	対象		資料番号	版数	作成日付	作成者	市
	福祉	基幹			H19.1.31		EA策定チーム



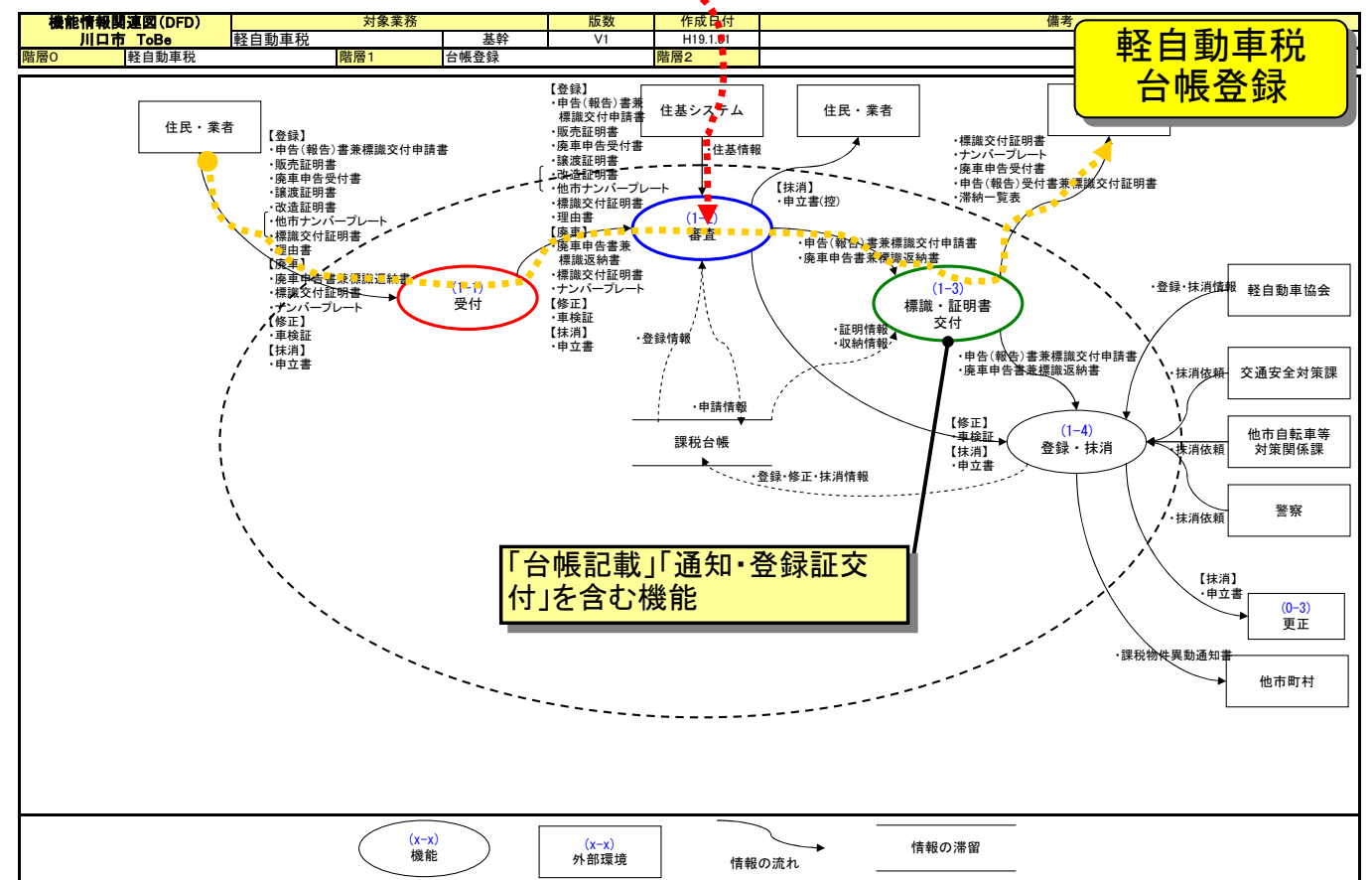
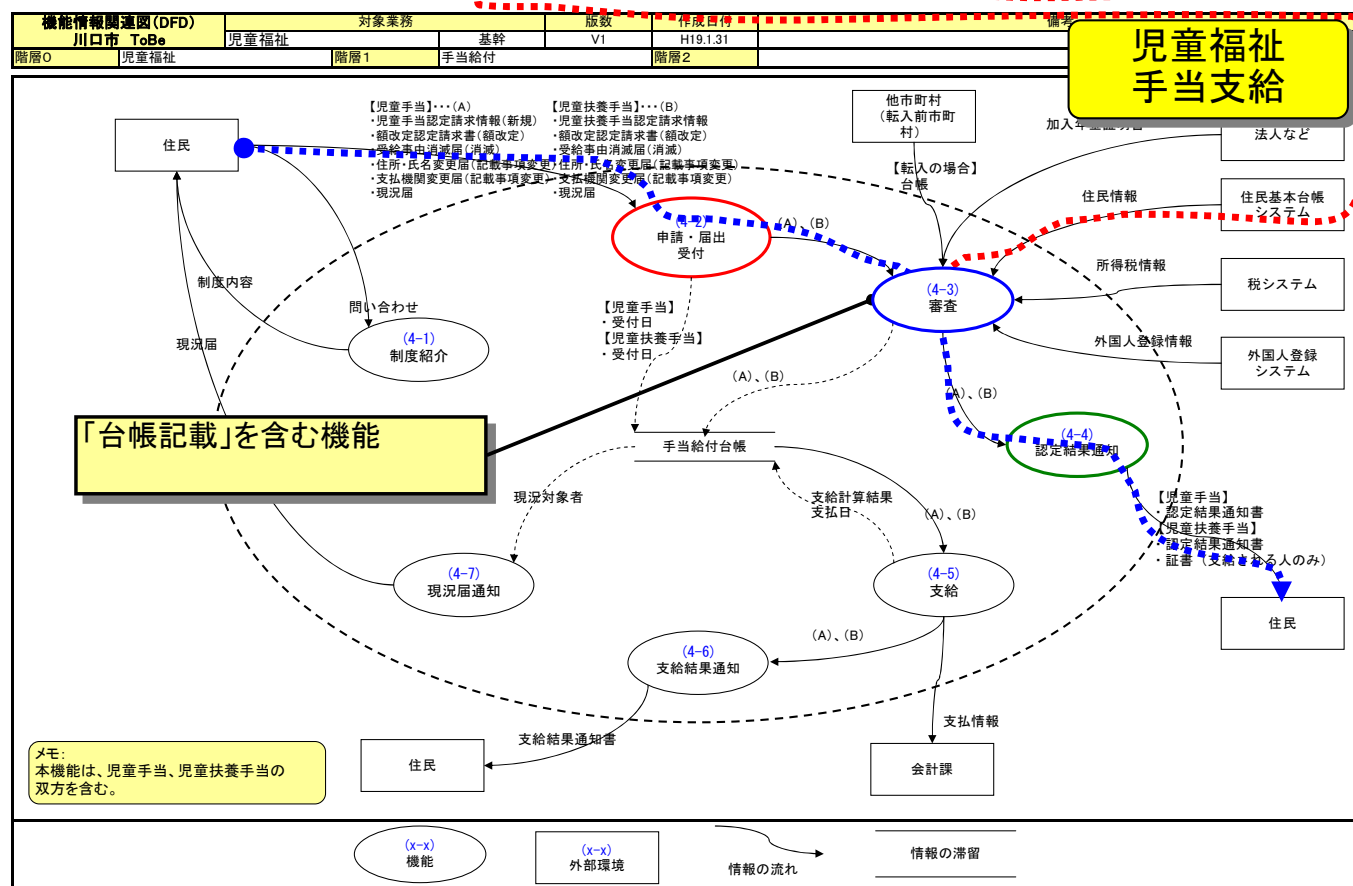
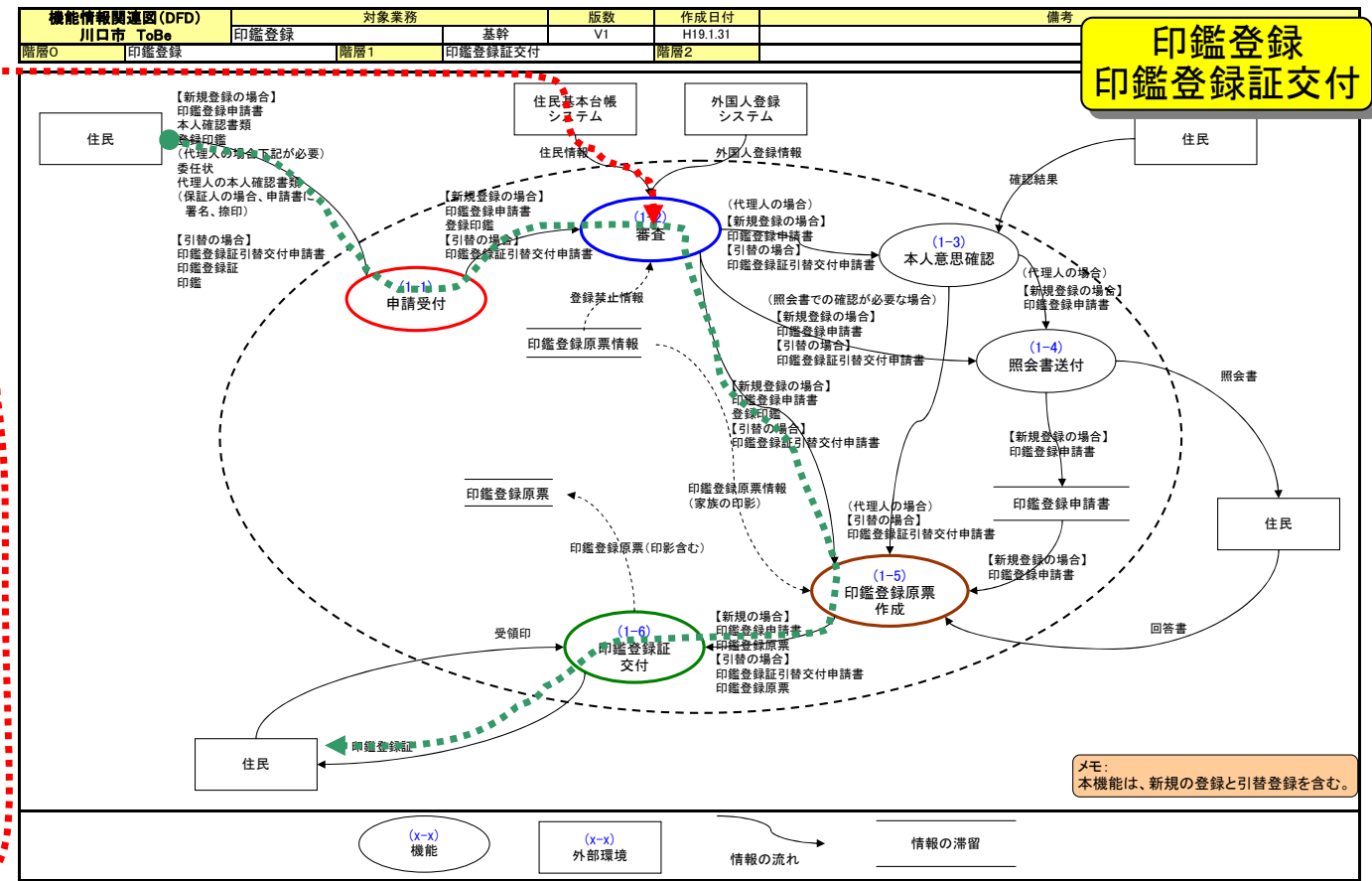
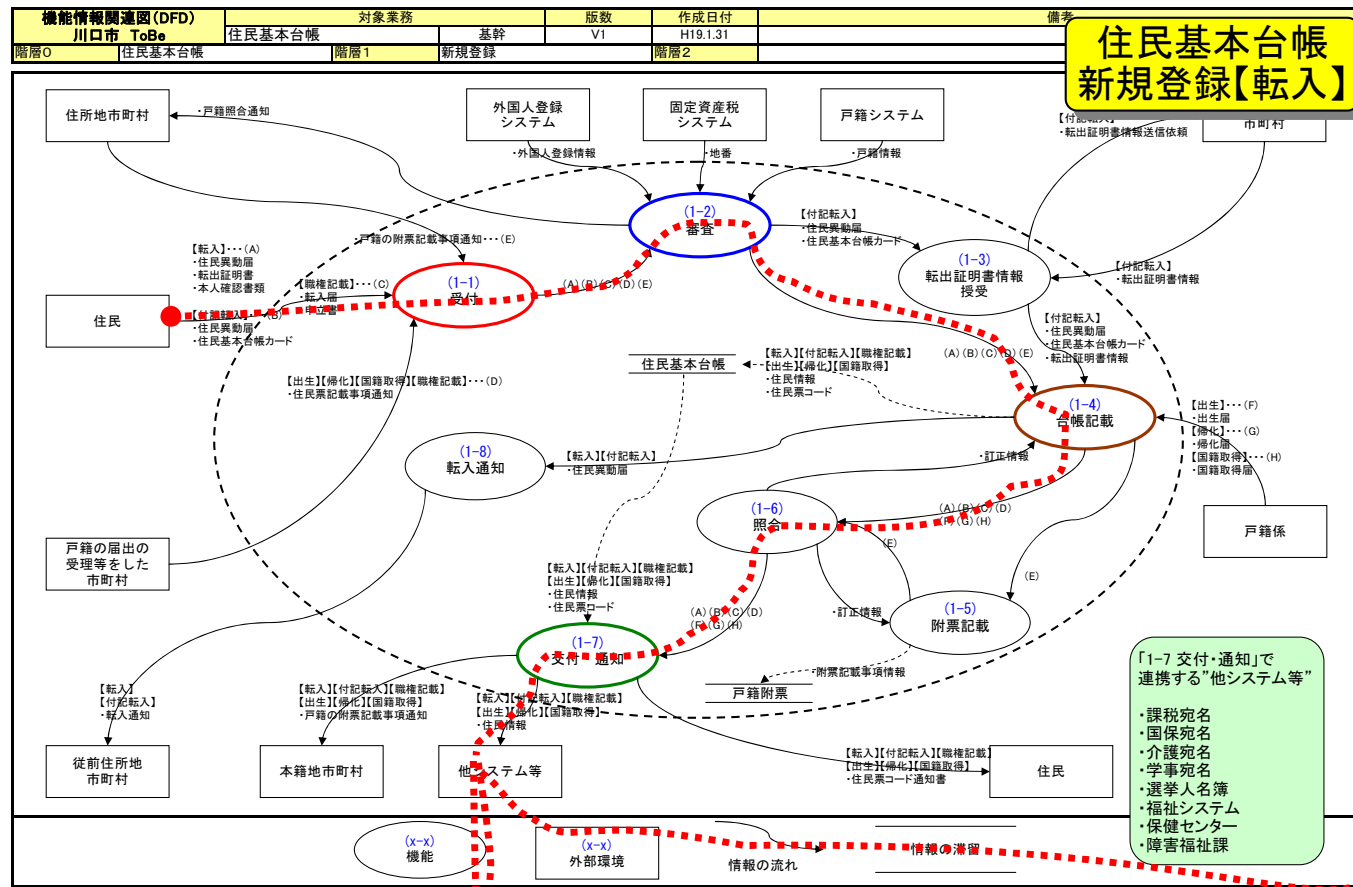
# DFD(論理化) ケース1:住民(子供がおり、原付を保有する世帯)の転入に伴う、一連の申請・届出



# ToBe (DFD)-ケース1

※いずれも現実的には「標準化・一元化」することは困難

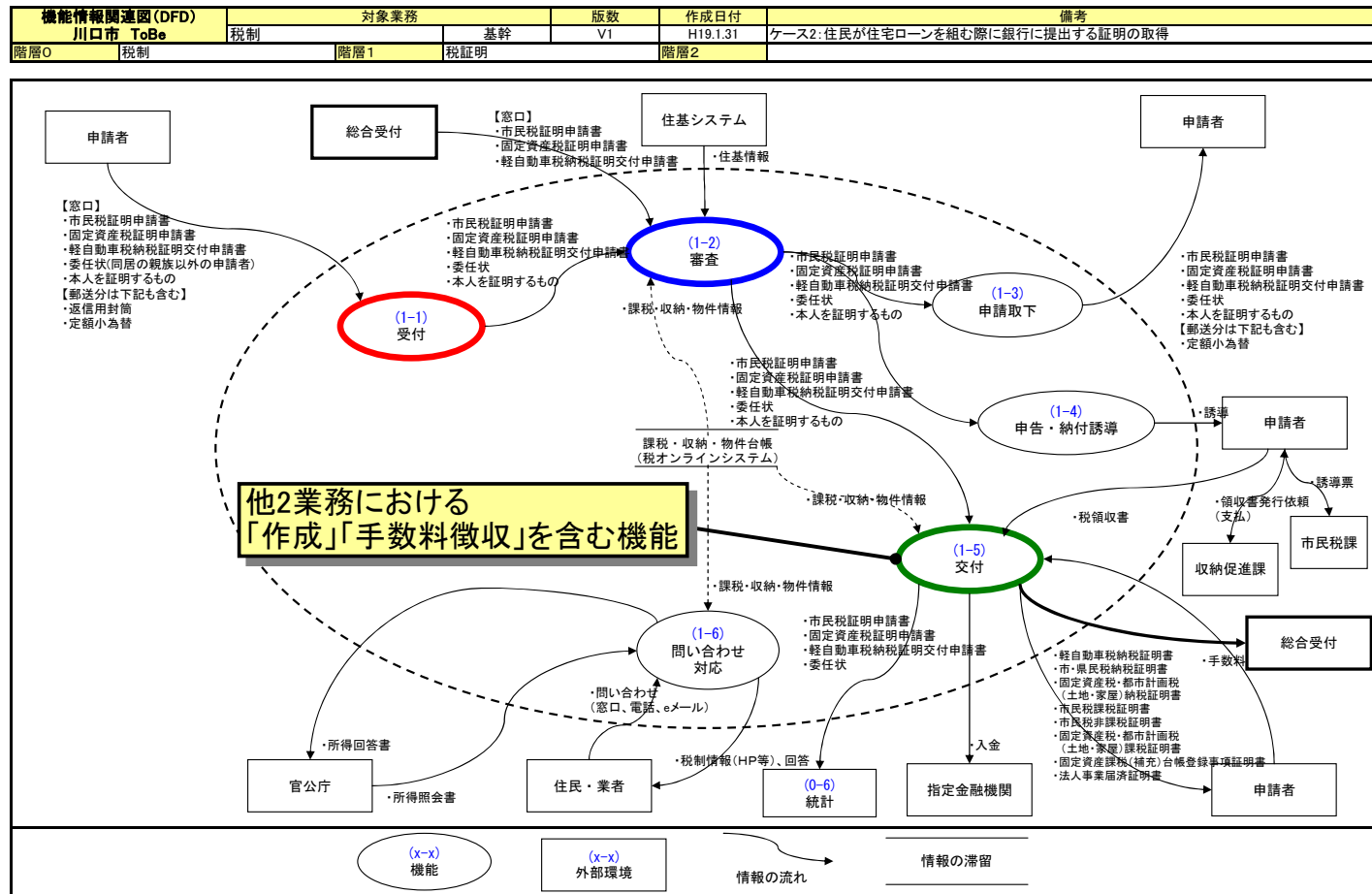
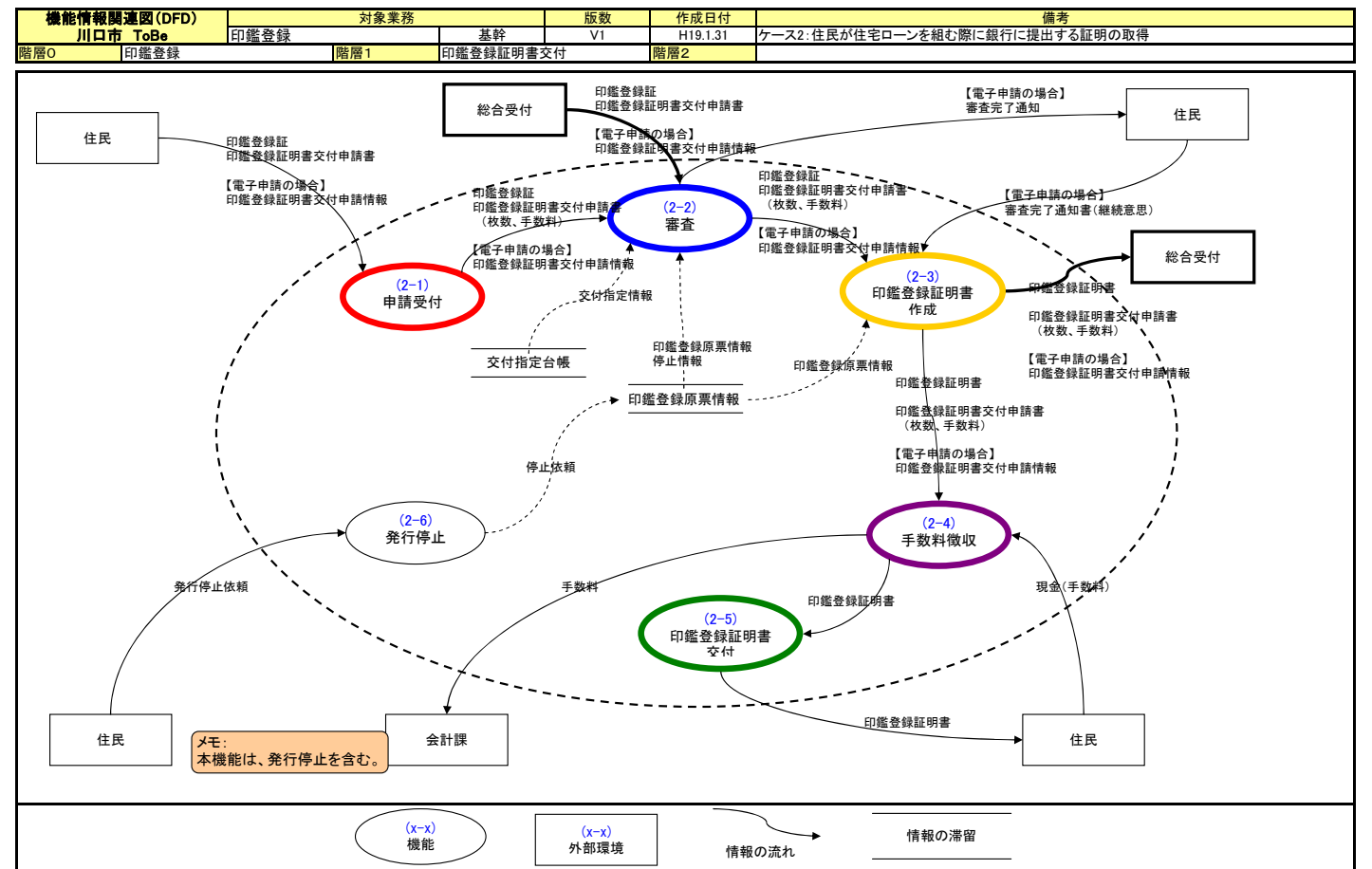
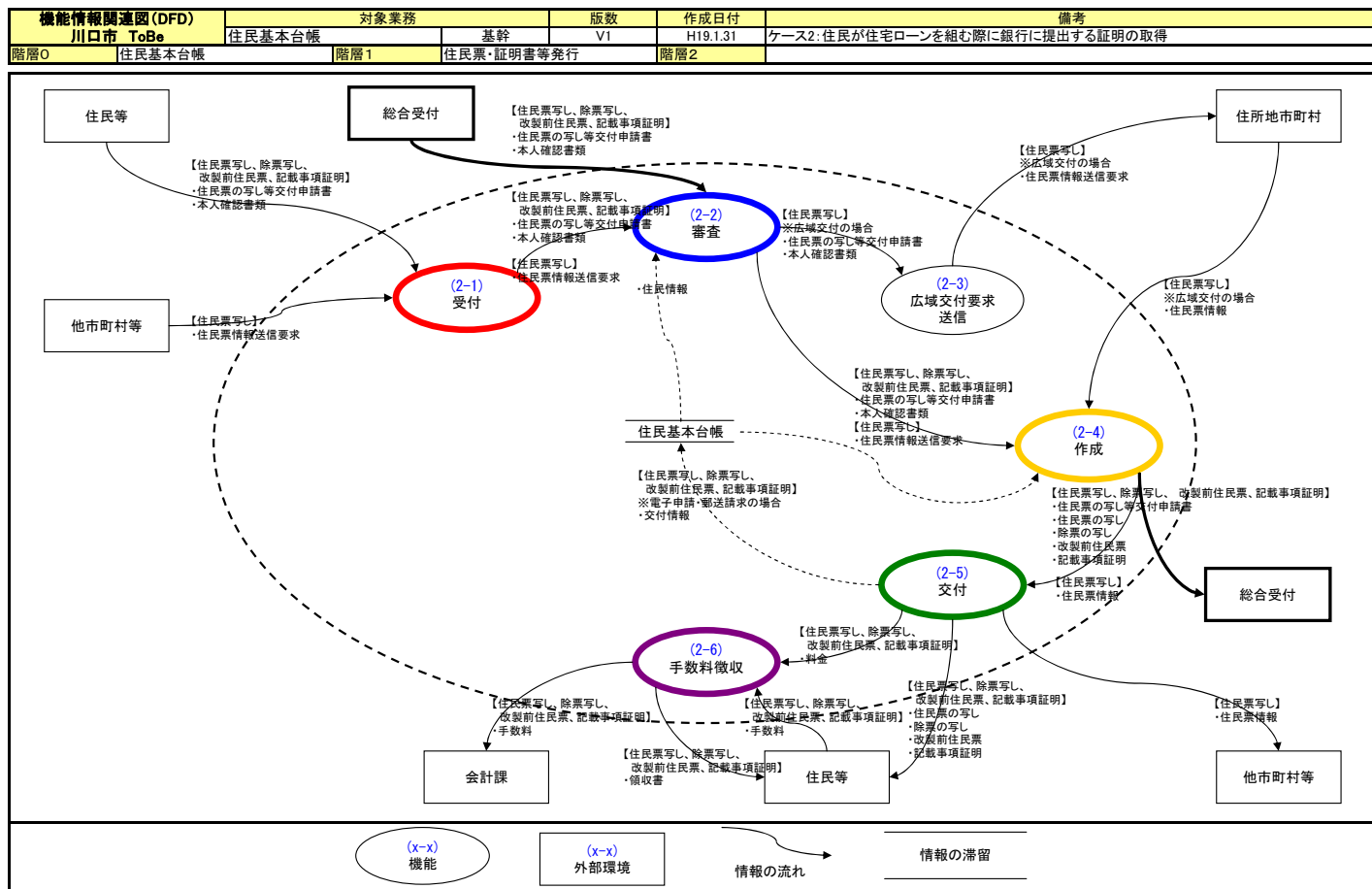
○ : 「受付」として抽象化    ○ : 「審査」として抽象化    ○ : 「台帳記載」として抽象化    ○ : 「通知・登録証交付」として抽象化





# ToBe(DFD)-ケース2

○ : 「受付」として抽象化    ○ : 「審査」として抽象化    ○ : 「作成」として抽象化    ○ : 「交付」として抽象化    ○ : 「手数料徴収」として抽象化



## 抽象化機能一覧表(ケース1)

No.	抽象化機能名称	対象業務	対象機能(階層1)	対象機能(階層2)
1	受付	住民基本台帳	新規登録	受付
		印鑑登録	印鑑登録証交付	申請受付
		児童福祉	手当支給	申請・届出受付
		軽自動車税	台帳登録	受付
2	審査	住民基本台帳	新規登録	審査
		印鑑登録	印鑑登録証交付	審査
		児童福祉	手当支給	審査
		軽自動車税	台帳登録	審査
3	台帳記載	住民基本台帳	新規登録	台帳記載
		印鑑登録	印鑑登録証交付	印鑑登録原票作成
		児童福祉	手当支給	(審査) ※1
		軽自動車税	台帳登録	(標識・証明書交付) ※2
4	通知・登録証交付	住民基本台帳	新規登録	交付・通知
		印鑑登録	印鑑登録証交付	印鑑登録証交付
		児童福祉	手当支給	認定結果通知
		軽自動車税	台帳登録	標識・証明書交付

※1 「児童福祉:手当支給」のモデルには、「台帳記載」に相当する機能が明記されていないが、「審査」機能に含んでいる。

※2 「軽自動車税:台帳登録」のモデルには、「台帳記載」に相当する機能が明記されていないが、「標識・証明書交付」に含んでいる。

## 抽象化機能一覧表(ケース2)

No.	抽象化機能名称	対象業務	対象機能(階層1)	対象機能(階層2)
1	受付	住民基本台帳	住民票・証明書等発行	受付
		印鑑登録	印鑑登録証明書交付	申請受付
		税制	税証明	受付
2	審査	住民基本台帳	住民票・証明書等発行	審査
		印鑑登録	印鑑登録証明書交付	審査
		税制	税証明	審査
3	作成	住民基本台帳	住民票・証明書等発行	作成
		印鑑登録	印鑑登録証明書交付	印鑑登録証明書作成
		税制	税証明	(交付) ※1
4	交付	住民基本台帳	住民票・証明書等発行	交付
		印鑑登録	印鑑登録証明書交付	印鑑登録証明書交付
		税制	税証明	交付
5	手数料徴収	住民基本台帳	住民票・証明書等発行	手数料徴収
		印鑑登録	印鑑登録証明書交付	手数料聴取
		税制	税証明	(交付) ※1

※1 「税制:税証明」のモデルには、「作成」「手数料徴収」に相当する機能が明記されていないが、「交付」機能に含んでいる。